

全学	保育学科	養護保健学科	歯科衛生学科	医療秘書学科
1.新しい知識や技能を習得する意欲 向上心を持ち、主体的に行動できる。	1-1.幼稚園教諭及び保育士として求められる 資質・能力を理解し、意欲的に学ぶことができる。 1-2.行事やボランティア活動に主体的に参加 する。	1-1.社会人としての倫理観をもち、自主的・自 律的に行動することができる。 1-2.多様な体験的な学修を通して、実践的指 導力を身につけている。	1-1.常に向上心を持ち、主体的に行動できる。 1-2.ライフステージにおける口腔状態や生活状態を 考えた計画的な口腔保健活動が実施できる。	1.秘書技能検定など級別検定においては上位 級が取得できる。また、医療秘書に関する資 格・検定をより多く取得できる。
2.現場で直面する様々な問題の解決 を図ることができる。	2-1.子ども一人ひとりに応じた援助を考えら れる。 2-2.問題解決のために地域や家庭と連携す る必要性を理解している。	2.専門的な知識や技能、情報を修得・活用 し、課題の解決を図ることができる。	2.社会における歯科衛生士の役割と責任を常に自 覚し、新たな課題とその対応法を見出すことがで きる。	2-1.患者さんやそのご家族、それぞれに応じた 支援ができる。 2-2.多職種である医療従事者の連携を図るため の支援ができる。
3.現場に必要なコミュニケーション能力 を持ち、活用できる。	3-1.相手の立場を理解し、人権に配慮したコ ミュニケーションをとることができる。 3-2.チームで協働することができる。	3.自己表現力や他者理解力、協働する力を養 い、適切な人間関係を構築することができ る。	3-1.チーム医療における歯科衛生士の役割を理解 し、保健、医療、福祉においてその専門的役割 を発揮することができる。 3-2.誰とでもコミュニケーションがとれる。 3-3.相手の話をよく聴き、自らの考えや思いを正しく 伝え、相手と協調行動がとれる。	3-1.患者さんやそのご家族と状況に応じた適切 なコミュニケーションができる。 3-2 多職種である医療従事者と連携を図るため の人間関係を築くことができる。
4.修得した知識・技能を、他人と協働し て活用できる。	4-1.保育内容の各領域を理解している。 4-2.保育の表現技能を用いて子どもと関わる ことができる。	4-1.学校における養護教諭の役割や保健室 の機能を明確に理解している。 4-2.医学・看護学についての基礎的知識や技 能を身につけている。	4-1.口腔疾病の病態と原因並びにその予防法を理 解している。 4-2.歯科診療の流れ、診療段階に応じた対応がで きる。 4-3.個人のセルフケア並びに集団の口腔保健に協 働、連携して取り組める。	4-1.医療秘書・秘書の使命や役割を説明でき る。 4-2.多職種連携に必要な医学用語を用いたコミ ュニケーションができる。 4-3.診療報酬請求や医療文書作成などの事務 処理ができる。 4-4.患者さんやそのご家族に医療制度に関わる 説明ができる。
5.修得した知識や技能を活かし、社会 に貢献できる。	5-1.社会人としてのマナーと自己管理能力を 身につけている。 5-2.専門的な知識や技能、情報を活用し、保 育をめぐる課題に取り組むことができる。	5. 修得した知識や技能を関連付けたり新たな 情報を収集したりして活用することで、社会 に貢献することができる。	5-1.法令に示されている歯科衛生士の使命、役割 を理解している。 5-2.倫理観を持ち、ひとの立場に立って考えるこ とができる。 5-3.①いつも笑顔であること、②いつも挨拶するこ と、③いつも時間を守ること、④いつも誠実であ ること、⑤いつも最善を尽くすこと、の「5 つの誓 い」に則った行動ができる。	5.修得した知識を活かし、社会に貢献できる。